

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 地主プライベートリート投資法人（証券コード：-）

### 【据置】

長期発行体格付  
格付の見通し

AA-  
安定的

### ■格付事由

- 地主株式会社をスポンサーとする非上場オープンエンド型投資法人であり、地主アセットマネジメント株式会社が本投資法人の資産運用業務を担う。投資対象が底地に限定されている唯一の底地特化型リートでスポンサーからの強固なサポート態勢が構築されており、底地マーケットのパイオニアとして、資産規模の拡大と安定的なキャッシュ・フローの創出を目指す。現行ポートフォリオは221物件で構成され、取得価格総額2,796億円の資産規模である。
- 運用開始以降、スポンサーからのサポートを背景に10年連続で増資・物件取得を実現するなど、資産規模は着実に拡大、物件分散も進展している。テナントとの契約においては、長期の定期借地権設定契約（借地契約）を締結し、原則10年以上（契約期間の半分等）の中途解約不可期間を設定することや、テナントからの借地料減額改定の申し入れは原則認めない方針としている。運用開始以降、稼働率は100%を維持しており安定した運用実績を確認できる。26年7月1日時点のテナントとの借地契約は、平均残存契約期間が約21年と長期であることに加え、平均残存中途解約不可期間が約9年と、当面安定したキャッシュフローが確保されている。こうしたトラックレコードや、分散されたポートフォリオを踏まえると安定した賃貸運営は可能とJCRではみている。財務面では保守的なレバレッジコントロールが継続されるなど健全な財務運営が確認できる。以上より格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- 本投資法人のポートフォリオを構成するテナントは主にスーパー・ホームセンター・ドラッグストアといった生活密着型の施設だが、最近ではヘルスケアなどの社会インフラ用途の底地も取得しており、用途の多様化も着実に進展している。本投資法人は運用資産規模について、3,000億円を通過点として、早期に5,000億円以上を目指すとしている。また、スポンサーにおける26年3月末時点の販売用不動産の残高が約1,120億円であり、最近ではタンクターミナルなど産業インフラ用途の底地も仕入れているなど、外部成長に向けたパイプラインの多様化も進展している。JCRでは、本投資法人の投資方針に沿った形で外部成長が進展していくか注目している。
- 財務面では、上場J-REITと比較して保守的なレバレッジコントロールが継続されており、継続的な外部成長を実行しながらもLTVは30%前半で安定的に推移している。なお、本投資法人では、各期の払戻対象口数を原則として発行済投資口数の2.5%に制限することで、LTVが大幅に上昇するリスクは抑制されている。デット・ファイナンスでは、足元の金利上昇を踏まえた借入期間や固定金利比率のコントロール、返済期限の分散化を企図した調達が続けられている。総じて、足元の財務運営に特段の懸念はないものの、JCRでは安定したLTVコントロールの継続に注目していく。

（担当）秋山 高範・古口 雄介

### ■格付対象

発行体：地主プライベートリート投資法人

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年7月2日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：秋山 高範  
主任格付アナリスト：秋山 高範
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「J-REIT」（2017年7月3日）として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 地主プライベートリート投資法人
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル